

# 令和4年度 自己評価・学校関係者報告書

令和5年 6月 26日  
学校法人八幡学園 やはた幼稚園

## 1. 本園の教育目標

<理念>

・健康な身体とまろやかな心をつくる

<教育目標>

・健康な子 ・やさしい子 ・何でも言える子 ・考える子

・約束を守る子 ・他人に迷惑をかけない子

## 2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

(1) 朝の自由遊びの充実とそれを豊かにするための環境づくり

(2) 子ども理解とそれに応じた保育

(3) 情報共有と作業の効率化

## 3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	結果	理由
(1) 朝の自由遊びの充実とそれを豊かにするための環境づくり	A	子どもが自主的、自発的に遊びを選択し時間配分も十分に設定することができた。今年度は自然観察の専門の講師から直接、全職員が園の自然に関して学べたことで、自然環境を活かした取り組みもできた。参道も四季折々に変化し、季節に合った遊びの構成を設定したり、園庭の一角で、草花や木々を使った製作コーナーを設けるなど環境作りも意識した。コロナ禍も長くなり、他学年との交流を制限することなく出来るようにするにはどうしたらよいかも職員間で考えられた。また、学年間でも相談し合い、朝の遊びの配置を決めたことで、それぞれのコーナーに必要な準備や設定がしっかりとできた。
(2) 子ども理解とそれに応じた保育	A	子ども達一人ひとりの思いや考えを、理解し対応し、関わり、寄り添うことができるように考えた。時には時間を掛けて担任以外の先生がじっくり関わり、寄り添うことで一人ひとりの思いを受け止め援助してきた。また、個別対応が必要な園児に関しては担任や先輩からのアドバイスなどを互いに相談しながら進められたことで、一人ひとりのことを考えた保育ができた。引き続き個別対応が必要な子供はもちろん、一人ひとりの育ち、年齢の育ちをよく理解し、それぞれに応じた対応を保育につなげたい

<p>(3) 情報共有と作業の効率化</p>	<p style="text-align: center;">B</p>	<p>学年間だけでなく、職員会議で全職員が情報共有したことで、やはり幼稚園の職員みんなが一貫した対応ができるようにした。そのことで子どもとの生活がスムーズになった。また、学年間では付箋を用いた情報共有も積極的に行い、過去の振り返りから成長が感じられたり、他の先生の捉え方や関わり方が他教諭の学びとなった。今後も職員同士、年齢、経験立場関係なくもっと気軽に意見交換できる雰囲気作りが必要である。</p> <p>効率化に繋がるよう常に意識して取り組んできたが、もっと効率的に作業できることがあるように思う。保育後の効率化によって、空いた時間は子どものこと、保育のことを考える時間として有効に利用できる為引き続き効率化を図っていく必要がある。</p> <p>毎週金曜日の保護者への引き渡し時、担任から一言のお伝えに少し時間がかかってしまった。保護者、子どもを待たせてしまうことが多かった。簡潔に伝わるようにする必要がある。</p>
------------------------	--------------------------------------	--

#### 4. 総合的な評価結果・今後取り組むべき課題

<学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果>

結果	理由
<p style="text-align: center;">A</p>	<p>先生たちみんなが、子どもにとってより良い生活、保育を目指して取り組んできた。日々が過ぎ去っていく中で、その日その日の振り返りや計画、個々を見直す時間を確保できたことで、次の保育に繋がった。子どもにとっての生活の場である幼稚園、各クラスが豊かになるよう、担任だけでなく補助、事務職員も一緒に考えていけた。今後も連携を怠らず、子ども達や保護者にとっても豊かな生活の場となるように努力していきたい。</p>

#### 5. 学校関係者評価委員会の評価結果

保育者が子ども達一人ひとりの思いに寄り添い関わっていることにより園児同士のつながりや信頼関係が育まれている。また豊かな自然環境や畑など子どもの興味を大事にした上で、それらを生かせる場所や道具などを整えている。そういった環境を通してのびのびと遊び工夫する子どもは生き生きとしていて、挨拶も明るく、やさしい心根が育っているのを感じる。コロナ禍にも子ども達のために最善を尽くす園の思いが伝わった。